

平成29年度 事業計画 事業期間:平成29年4月1日～平成30年3月31日

地域医療対策委員会			
	事業内容	開催時期	備考
	1、福井市休日急患センターの出務管理及び業務運営	通年	派遣人数(54名)
	2、大野市休日急患診療所の出務管理及び業務運営	通年	派遣人数(41名)
	3、スキルアップ研修会の開催(年1回)	10月	参加見込み人数(約70名)
公益性の理由	福井市休日急患センター及び大野市休日急患診療所における放射線業務を通して、夜間・休日における急患施設業務の一端を担い、広く地域医療へ貢献		

広報・組織調査委員会			
	事業内容	開催時期	備考
	1、県内出身在学生調査・県技師会会員への調査	8月上旬	養成学校数39校、技師会会員(310名)
	2、福井市健康フェアの参加	7月または10月上旬	本会のコーナー約150名(総来場者約500名)
	3、求人案内のホームページ掲載	随時	年間を通して約10施設程の求人案内
	4、他行事への参加(ピンクリボン協会)	適宜	参加見込み人数は適宜
公益性の理由	行政及び他団体と一体となった病気の予防・早期発見・治療につながる健康保健の増進事業の展開		

放射線管理委員会			
	事業内容	開催時期	備考
	1、福井県原子力防災訓練に向けての初期被ばく医療従事者講習会	県の予定時	講師見込み人数(約10名)
	2、福井県原子力防災訓練への協力	県の予定時	会員派遣見込み人数(約10名)
	3、教育講習会『住民サーベイの実施方法について』	他勉強会に併せて	年間約2回の開催予定(延べ参加人数300名)
	4、放射線管理士認定資格更新の啓発(教育講演を行い受講証発行)	他勉強会に併せて	年間約2回の開催予定(延べ参加人数300名)
	5、緊急被ばく医療連絡網入会の啓蒙	他勉強会に併せて	随時
	6、移動型WBC見学・操作説明会(操作確認)	県の予定時	派遣人数(約15名)
公益性の理由	緊急被ばく医療時に県民の健康保持に尽力できるよう、行政と一体となった訓練や活動等を行なう		

学術研修委員会			
	事業内容	開催時期	備考
	1、福井県診療放射線技師会 学術講演会	6月	参加見込み人数(約80名)
	2、福井県診療放射線技師会 学術大会	3月	参加見込み人数(約100名)
	3、読影セミナー	5月、1月	参加見込み人数(約80名)
公益性の理由	学術講演会を一般の方(他職種)にも出席して頂き、医療の中で診療放射線技師が関わっている分野の情報提供を行うことが、公益性の理由と考える		

生涯学習推進委員			
	事業内容	開催時期	備考
	1、診療放射線技師のためのフレッシュャーズセミナー	6月	参加見込み人数(約25名)
	2、福井県診療放射線技師会「女性部会」開催	9月	参加見込み人数(約40名)
	3、診療放射線技師基礎技術講習会「基礎技術講習会MRI」	8月	参加見込み人数(約40名)
	4、日本放射線技師会生涯教育カウートの申請	通年	年間を通して約20回の申請
	5、臨床実習全国統一講習会	5月、10月	参加見込み人数(約40名)
公益性の理由	学術大会や研修会を通して発展する放射線最新技術を学び、病院へ還元する事で患者の疾病治療の促進と医療安全に寄与		

情報ネットワーク委員会			
	事業内容	開催時期	備考
	1、福井県放射線技師会HPの新規開設と更新作業	随時	随時(一般の方、会員への最新情報の開示)
	2、月一回(計12回)のメールニュース発刊	毎月	県内外の学会、セミナー等の行事のお知らせ
	3、SNSを利用した一般の方、会員への情報提供環境の確立	年度内	ソーシャル・ネットワーキング・サービスの構築
公益性の理由	県民にホームページや出版物を用いて放射線医療及び放射線の知識、放射線情報等を提供する事で地域の健康保健増進へ貢献		

出版事業委員会			
	事業内容	開催時期	備考
	1、年4回の会報すいせんの発行	5月、7月、10月、2月	会員に対し1回の発行部数(約400部)
	2、年1回の会誌の発行	5月	会員及び公的施設に対し発行部数(約450部)
公益性の理由	県民にホームページや出版物を用いて放射線医療及び放射線の知識、放射線情報等を提供する事で地域の健康保健増進へ貢献		

福利厚生委員会			
	事業内容	開催時期	備考
	1、北陸三県ソフトバレーボール大会	6月 下旬	北陸3県の会員約50名の参加
	2、レクレーション企画	8月 中旬	参加見込み人数(約40名)
	3、ボウリング大会	1月 下旬	
公益性の理由	福利厚生事業を通して、会員の職業倫理の高揚を高め、公益事業への参加意識を深めることで県民の健康保持及び増進に寄与		